

学校教育方針

学校教育全体構想図【高松市立協和中学校：グランドデザイン】

学級数（26）内特別支援学級（5） 生徒数 710名

「学校教育目標」と「令和4年度重点目標」に向けて

校訓 協和 誠実 努力
教育目標 自ら進んで道を切り拓き、自己実現をめざす生徒の育成
重点目標 自分を見つめ、先を見通し、自分の言動に責任をもつ生徒

豊かな人間性

- ・ 自他の生命を大切にする心を育む。
- ・ 認め合い、高め合うなかまづくり。
- ・ 自分を伸ばすために主体的に努力できる態度を育成する。

健康・体力

- ・ 望ましい生活習慣を身につける。
- ・ 自分の命は自分で守る力をつける。
- ・ 運動に親しむとともに、「食」に関する知識と「食」を選択する力をつける。

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ①ともに学び合うよさを実感できる。
- ②先を見通した言動がとれる。
- ③自分を理解し、集団の中で自己を生かすことができる

何が身についたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ①他者の意見を理解しようとする。教え合うことで自分の考えを深めることができる。
- ②自身の経験だけでなく、他者の経験も自分の経験として捉えて考えることができる。
- ③自分に何ができるかを考え、行動する。

子どもの実態

- 素直である。
- 行事に一生懸命取り組める。
- ◆判断が刹那的になりやすい。
- ◆自己指導能力が低い。

子どもの発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子どもへの指導

- ・ 教え合いながら学び合う学習形態の定着を図る。
- ・ 個々の生徒の学びの個性を共有する。
- ・ 個々の生徒に応じた教材・発問の工夫を行う。

目指す子どもの姿

- ・ ともに伸びることを目指す生徒
- ・ 感謝する心、思いやりのある生徒
- ・ 自らの可能性を信じ根気よく努力する生徒

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ①教え合いながら問題を解決していく学び方を身につける。
- ②学力の基礎となる力（読解力、語彙力、計算力、表現力）を身につける。
- ③学んだことが他の教科や実生活で活用できる。
- ④家庭学習が定着する

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ①協同学習の充実。
- ②読書の奨励（朝読書、図書室利用の推進）。AIドリルの活用。
- ③他教科や身近な事象との関連を図った教材の使用、開発。
- ④懇談会、便り等での啓発。次の授業につながる、達成感が得られる宿題の工夫。

実現するために何が必要か

○指導体制の充実・家庭・地域との連携・協働

- 協同学習が生きる授業づくりの推進
- 個々の子どもに適した学びの支援のための情報の収集と共有
- 小中での子どもの情報交換等の連携体制の確立
- 高松型学校運営協議会での意見交換
- 関係機関との情報共有及び連携
- 地域の諸団体との活動の交流

安心・安全を守る

- 「自分の命は自分で守る」指導
- 関係機関や地域の諸団体と連携した交通安全指導・登下校指導
- 防災指導・安全点検・環境整備

開かれた学校づくり

- 高松型学校運営協議会、地域の諸団体、関係機関との連携・協力
- 学校からの積極的な情報発信